

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月30日

上場会社名 TOYOイノベックス株式会社

上場取引所

東

コード番号 6210

URL <https://www.toyo-invx.com>

代表者 （役職名） 代表取締役社長

（氏名） 田畑 禎章

問合せ先責任者 （役職名） 執行役員経営企画室長

（氏名） 酒井 雅人

（TEL） (078) 942-2345

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	20,286	2.8	211	—	470	—	△307	—
2025年3月期第3四半期	19,735	△8.3	△500	—	△446	—	△659	—

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 △288百万円（－％） 2025年3月期第3四半期 △320百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△15.04	—
2025年3月期第3四半期	△32.09	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	30,997	16,658	51.9
2025年3月期	30,100	17,657	56.8

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 16,080百万円 2025年3月期 17,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2026年3月期	—	17.50	—		
2026年3月期（予想）				17.50	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	30,000	11.0	300	—	400	—	△295	—	△14.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	20,703,000株	2025年3月期	20,703,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	224,781株	2025年3月期	235,151株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	20,474,164株	2025年3月期3Q	20,540,212株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にあるものの、インフレの影響やマイナス金利政策の解除、円安傾向の継続などから、先行きは不透明な状況で推移いたしました。また、海外ではアメリカの関税政策を始めとした各国の政策リスクやロシアによるウクライナ侵攻が長期化する中で中東情勢が再度緊迫化するなど地政学的リスクの高まりにより、依然として先の見通せない状況が続きました。

当社グループの事業に関連する業界におきましては、需要低迷の長期化と部材仕入価格の高止まりおよび燃料エネルギー価格の高騰などの影響により、厳しい状況で推移いたしました。

このような市場環境の下、当社グループにおきましては、中長期的な視点から持続的な成長と安定した収益確保に向けた事業活動を推進し、成形機事業の一層の強化に努め、生産効率の向上と安定供給体制の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は21,371百万円（前年同期比1.0%増）、売上高は20,286百万円（同2.8%増）となりました。このうち、国内売上高は4,961百万円（同21.1%減）、海外売上高は15,324百万円（同14.0%増）となり、海外比率は75.5%となりました。営業利益は211百万円（前年同期は営業損失500百万円）、経常利益は470百万円（前年同期は経常損失446百万円）と黒字に転換しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、訴訟関連損失（特別損失）の計上により307百万円の損失（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失659百万円）となりました。

製品別の売上の状況は、以下の通りです。

[射出成形機]

受注は、国内・海外共に増加しました。売上は、国内は生活用品や自動車関連向けが減少しました。一方、海外は中国のIT関連・医療機器関連向け、米国の生活用品関連向けが増加しました。この結果、受注高は16,165百万円（前年同期比5.4%増）、売上高は14,535百万円（同3.2%増）となりました。このうち、海外売上高は11,010百万円（同16.9%増）となり、海外比率は75.8%となりました。

[ダイカストマシン]

受注は、国内・海外共に減少しました。売上は、国内は自動車関連向けが減少しました。一方、海外は東南アジアや南アジアの自動車関連向けが増加しました。この結果、受注高は5,206百万円（前年同期比10.6%減）、売上高は5,751百万円（同1.8%増）となりました。このうち、海外売上高は4,314百万円（同7.1%増）となり、海外比率は75.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,025百万円増加しました。これは、主に現金及び預金の減少452百万円及び未収消費税等を含むその他流動資産の減少167百万円があったものの、棚卸資産の増加1,130百万円及び売上債権の増加516百万円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて128百万円減少しました。これは、主に投資有価証券の増加224百万円があったものの、有形固定資産の減少325百万円及び繰延税金資産の減少37百万円があったことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,208百万円増加しました。これは、主に災害損失引当金の減少252百万円、未払費用の減少131百万円及び1年内返済予定の長期借入金の減少100百万円があったものの、短期借入金の増加2,000百万円、未払金等を含むその他流動負債の増加579百万円及び仕入債務の増加123百万円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて312百万円減少しました。これは、主に繰延税金負債の増加67百万円及びリース債務等を含むその他固定負債の増加16百万円があったものの、長期借入金の減少240百万円及び退職給付に係る負債の減少159百万円があったことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて998百万円減少しました。これは、主にその他有価証券評価差額金の増加112百万円及び非支配株主持分の増加28百万円があったものの、配当を行ったことによる利益剰余金の減少716百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少307百万円及び為替換算調整勘定の減少119百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、中国広東省において、医療器具メーカーの汕頭華爾怡医療器械有限公司より、2021年1月5日付売買契約に基づいて販売した射出成形機25台のうち、13台に品質上の不具合が発生したとの主張により売買契約の解除及び販売した製品の運送費、通関費等の返還を求める訴訟を汕頭市金平区人民法院に提起されておりましたが、2024年6月28日、原告の請求を棄却する判決が言い渡されました。

原告は同判決を不服として上訴し、汕頭市中級人民法院において係争中でしたが、2025年4月22日、汕頭市金平区人民法院における原判決を撤回し、審理を差し戻す裁定がなされました。

2025年5月26日、汕頭市金平区人民法院は差し戻し審を受理し、審理を続けてきましたが、このたび汕頭華爾怡医療器械有限公司の主張が認められ、売買契約の解除並びに当社に対して売買代金及び運送費・通関費等の返還を命じる判決が言い渡されました。この結果、当第3四半期連結会計期間においてこれに伴う訴訟関連損失445百万円を特別損失に計上いたしました。

上記の特別損失（訴訟関連損失）の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る見込みとなりましたので、通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 30,000	百万円 300	百万円 400	百万円 150	円 銭 7.33
今回発表予想（B）	30,000	300	400	△295	△14.41
増減額（B－A）	0	0	0	△445	
増減率（％）	—	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	27,024	△521	△427	△845	△41.18

（注）上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,829	4,376
受取手形及び売掛金	5,821	5,405
電子記録債権	1,241	2,173
商品及び製品	3,539	4,540
仕掛品	3,223	3,437
原材料及び貯蔵品	1,315	1,230
その他	1,366	1,198
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	21,328	22,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,243	4,961
機械装置及び運搬具（純額）	920	1,018
工具、器具及び備品（純額）	95	81
土地	782	782
リース資産（純額）	135	161
建設仮勘定	1,155	1
有形固定資産合計	7,332	7,006
無形固定資産	291	289
投資その他の資産		
投資有価証券	976	1,200
繰延税金資産	124	86
その他	659	648
貸倒引当金	△611	△589
投資その他の資産合計	1,148	1,346
固定資産合計	8,771	8,643
資産合計	30,100	30,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,194	3,307
電子記録債務	638	649
短期借入金	2,300	4,300
1年内返済予定の長期借入金	340	240
未払費用	593	462
未払法人税等	156	128
未払消費税等	10	24
製品保証引当金	47	46
役員賞与引当金	—	4
災害損失引当金	252	—
その他	1,622	2,201
流動負債合計	9,156	11,364
固定負債		
長期借入金	840	600
退職給付に係る負債	1,399	1,239
繰延税金負債	927	995
役員株式給付引当金	4	8
その他	116	132
固定負債合計	3,286	2,974
負債合計	12,443	14,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,506	2,506
資本剰余金	2,398	2,401
利益剰余金	10,383	9,358
自己株式	△80	△77
株主資本合計	15,207	14,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170	283
繰延ヘッジ損益	△6	5
為替換算調整勘定	1,421	1,301
退職給付に係る調整累計額	314	300
その他の包括利益累計額合計	1,900	1,890
非支配株主持分	549	578
純資産合計	17,657	16,658
負債純資産合計	30,100	30,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	19,735	20,286
売上原価	16,204	15,981
売上総利益	3,530	4,304
販売費及び一般管理費	4,031	4,093
営業利益又は営業損失(△)	△500	211
営業外収益		
受取利息及び配当金	28	24
固定資産賃貸料	51	51
為替差益	13	73
持分法による投資利益	—	75
デリバティブ評価益	—	65
その他	30	29
営業外収益合計	123	319
営業外費用		
支払利息	23	29
支払手数料	1	2
固定資産賃貸費用	6	6
持分法による投資損失	19	—
その他	19	22
営業外費用合計	69	60
経常利益又は経常損失(△)	△446	470
特別利益		
災害保険金収入	301	—
特別利益合計	301	—
特別損失		
投資有価証券評価損	4	—
災害損失引当金繰入額	273	—
訴訟関連損失	—	※1 445
特別損失合計	278	445
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△423	25
法人税、住民税及び事業税	136	187
過年度法人税等	—	※2 56
法人税等調整額	65	57
法人税等合計	201	301
四半期純損失(△)	△625	△276
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	31
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△659	△307

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△625	△276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	112
繰延ヘッジ損益	13	12
為替換算調整勘定	186	△158
退職給付に係る調整額	△3	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	10	36
その他の包括利益合計	305	△11
四半期包括利益	△320	△288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△384	△317
非支配株主に係る四半期包括利益	63	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 訴訟関連損失

当第3四半期連結累計期間における訴訟関連損失445百万円は、汕頭華尔怡医療器械有限公司への売買契約の解除及び販売した製品の運送費、通関費等の返還に要する費用であります。

※2 過年度法人税等

当社の持分法適用関連会社の連結子会社であるTOYO europe srlが、イタリア税務当局から過年度の配当に係る源泉税の納付漏れに伴う追徴課税の税務調査を受けた結果、当社における追徴課税56百万円を過年度法人税等として計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	629百万円	614百万円